

第15期 第2回 砂防公開講座 実施報告

平成23年8月27日軽井沢中央公民館において、「防災住民講座」との合同講座を開催しました。平成23年8月で浅間山の火山観測が100年を迎え、「浅間山火山観測100周年」をテーマに4人の講師の方が講演を行いました。参加者226名

《プログラム》

開講の辞
軽井沢町長挨拶
講演

- ①山里 平 火山課長
 - ②西 真佐人 事務所長
 - ③武尾 実
東大地震研究所教授
 - ④藤井 敏嗣
東京大学名誉教授
- 閉講の辞

「利根砂防 パネル 自動降灰量計 展示」



《同時開催》

観測機器・パネル
噴石・降灰等展示
写真展
映画・防災ビデオ
上映
自然災害体験車に
よる火砕流実演

130人の方に体験
して頂きました。

1 「浅間山の火山監視体制（100年の あゆみ）」

100年の火山観測の歴史、噴火前日に噴火警報を発表できた事例紹介、防災の取り組みについてお話いただきました。



山里 平 気象庁火山課長

2 「火山噴火と土砂災害」

火山が噴火した時に発生する災害現象、災害の危険度、被害を防ぐ方法、火山噴火に伴う土砂災害対策についてお話いただきました。



西 真佐人 利根川水系砂防事務所長

3 「浅間山の火山観測100年」 (2004年噴火後の新たな知見)

浅間山近傍における観測網(素粒子ミュオンによる透視・無人ヘリによる観測)が整備されたことにより、分かってきた火山活動についてお話いただきました。



武尾 実 東京大学地震研究所教授

4 「100年先の浅間山と火山噴火予知」

東日本大地震によって地殻変動が続いており火山噴火が誘発される可能性がある。過去の地震と火山噴火の例を挙げてお話いただきました。



藤井 敏嗣 東京大学名誉教授

<アンケート結果>

- ・火山活動、浅間山構造、マグマの状況、地震発生のメカニズム等良く理解できました。相当高いレベルで予知できる状況になっている事は素晴らしい。各先生の説明は大変良く理解できました。ありがとう。
- ・研究の最先端を聞くことが出来て大変参考になりましたが少し難しかったように思う。会場から質問しやすくする工夫があるのではないのでしょうか。
- ・今回のイベントが単に研究の発表会やパフォーマンスとならないよう、住民の命を守る講義であってほしい。

「写真展」

